

今月の株式市場見通し

5月初旬より、①ギリシャ危機に端を発した欧州金融危機に対する懸念並びに②欧州・米国の金融規制法の市場に対するマグニチュードの度合いを主要因として、疾風怒濤の如く吹き荒れた市場の混乱も、5月下旬よりやや沈静化しつつあります。

即ち、市場の混乱による極度のリスク回避相場は、5月第一週以降の、グローバルな財政面（EUによるギリシャ支援パッケージ・IMFの支援・ECBによる国債の買取）並びに資金調達面（G5中銀・ドル・ユーロ・円・ポンド・スイスによるドルスワップ協定の発動）における協調対策が打たれたことによりその終焉を迎えると伴に、市場は、漸く客観的に、現状の良好なファンダメンタルズを直視し、市場が過度に神経質になりすぎたと判断し、均衡水準への修正を行おうとしているところだと思われます。

今回の混乱を招いた上述①並びに②は、中長期的な課題であり、解決までには時間を要する性質のものであることから、今後、その都度、市場に取り上げられる事象とはなりましょう。

しかしながら、当面は、G20体制の下での国際協調の確認が、市場の価格形成の安定性を取り戻させ、再びファンダメンタルズ優位の市場（株価で言えば上昇）が現出されるに従い、ショート（売り）中心で利益を稼得したファンドも、ロング（買い）のポジションを徐々に積み上げていくものと想定しています。

資産別にみますと、債券は、長期債程売られやすく、株式は、金融引き締めが想定される新興国より、今次金融危機により金融緩和の継続期間がより長くなった先進国の株式のパフォーマンスが優位であり、特に収益モーメントが強い日本株がその魅力度を増しています。また、円安（先進国 VS 新興国通貨高という基本構図を維持しつつ、ファンディング通貨であり且つ金利差の観点から最弱通貨として位置づけられる円）が日本株式の収益を支援することになると予測しています。業種は、機械・電気機器・輸送用機器・情報通信を推奨。また、新興国関係では、新興国の消費に依拠した銘柄を推奨。

株 練 場

2010年

6月号

西村証券

本店営業部

TEL 075-221-9390

株練場コラム

今年は、平城京遷都 1300 年に当り、奈良市を中心に様々なイベントが催されています。

ところで、我が国の歴史において平城京とはどのような位置付けなのでしょう。

諸説ありますが、概ねそれまでの豪族連合国家から、律令に基づき、天皇を頂点とした中央集権による、統一日本国に変貌を遂げた象徴としての首都であったと思われます。そこに天平仏教文化が開花し、「青に丹し、奈良の都は咲く花のおふがごとし今盛りなり」と万葉集にも歌われたように、美しく、雅な都であったと想像できます。

しかし 70 年の奈良朝政治の底流では、台頭する藤原氏と旧の諸豪族が常に権力を争い、皇族や仏教寺院も巻き込んだ陰謀・暗殺・乱・変が幾たびも起った上に、新羅から伝染した天然痘の大流行等で権力者・庶民共に大量の死者が出ると言った、激動の都でした。「秋されば春日の山の黄葉（もみじ）見る奈良の都の荒るらく惜しくも」と歌われたように、都は荒廃し、魑魅魍魎が跋扈する有様になってしまいました。さらに平城京には海に繋がる大河が無く、大量の物資輸送が困難な上、洛中も常に水不足に悩まされたそうです。

奈良朝最後の桓武天皇は、この都の現状を打開する為と、自らの権力を磐石にする為、（桓武天皇は約 100 年続いた天武系では無く、没落した天智系天皇で権力基盤が脆弱であった。）長岡京を経て、794 年平安京に遷都をされ、ここに壮大な平城京はその使命を終えました。

今、復元された平城京大極殿の前に立ち、荘厳な建物の奥に、激動の時代を駆け抜けた先人の思いを重ねれば、また違った平城京に会えるかも知れません。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.

〒600-8007 京都市下京区四条通高倉西入立売西町 65 番地

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 26 号 加入協会：日本証券業協会 主な事業：金融商品取引業

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮下さい。